

# 令和3年度事業計画

## I 基本計画

今日の社会・経済情勢を展望すると、消費税率引き上げに新型コロナウイルス感染症の影響が加わり、改善が続いていた雇用所得環境の悪化とともに失業者も増加し、個人消費の回復の遅れがみられます。また、企業収益の悪化も報じられ景気の先行き不透明感の高まりを受けて、今年度の当センターの事業も楽観はできません。

国においては、人生100年時代を見据え生涯現役社会の実現に向けた就労のあり方として、意欲と能力を持つ高齢者を社会資源とみなして活用することで、地域の課題を解決し地域社会の「支え手」となる全員参加型社会を提唱しております。

シルバー人材センターは、登録した会員に就労の機会を組織的に提供する機関であり、地域住民のニーズにも応えております。会員の平均年齢は73歳で比較的高い年齢層ではありますが、労働自体のやり甲斐・達成感、社会貢献できる喜び・生きがいなどが就労への原動力であり、こうした高齢者が活躍する姿は、国の推進する政策にも合致し、センターに対する社会の期待は大きなものとなっております。

以上のことを踏まえ、公益社団法人として地域の要望に応え、社会貢献する使命を果たしていくためには、会員数を増やしていくこと、とりわけ女性会員の拡大が急務であります。さらに、経営の安定と継続性を図るため、会員・役員・職員が一体となり、これまで以上に効率的・効果的な事業運営に努めてまいります。

具体的な数値目標としては、年度末の会員数は対前年で50人の増加、受注金額は全体で6億円の確保を目指します。

## II シルバー事業実施計画

### (1) 新規会員の増強及び会員の退会抑止

コロナ禍による景気の先行き不透明感が高まるなか、センターを運営するうえでもこれが懸念材料となっています。センターの存続を脅かすのは収支の悪化による大幅な赤字決算が続くことです。こうした状況に陥ることなく収支の均衡を保つには、就業会員を増やし強固な体制を構築していかなければなりません。そのため、新規会員の増強を強力に推し進めてまいります。

また、家事、介護、清掃等の最近の地域ニーズの高まりに対応していくためにも、多様な職種をこなせる人材、特に女性会員を増やしていかなければなりません。

一方で、退会会員も毎年一定数発生しております。病気、家族の介護、加齢による体力低下等の余儀ない理由による退会は止められませんが、できる仕事がないということも退会理由としてあがっているため、就業開拓には特に力を入れてまいります。

シルバー事業の根幹は会員であり、事業の拡大・活性化を図るためには、会員数の増加による地域に密着した就業をすることが必要不可欠です。

そのため、山口県シルバー人材センター連合会と連携した1人1会員の会員紹介制度、新聞折り込みチラシへの会員募集広告の掲載、会員の口コミを活用したシルバーの宣伝等を積極的に推し進め、会員増加を実現して参ります。

コロナ禍で困難な面もありますが、高齢者に関心の高い催しと入会説明会をセットとした事業を実施し新入会員を増やすとともに、会員同士の交流を図るための施策を推進し退会抑止にも努めます。

## (2) 労働者派遣・有料職業紹介事業の拡大

請負や委任になじまない業務については、引き続き労働者派遣事業及び有料職業紹介事業で対応します。特に昨年度は、労働者派遣事業が大きく伸びた一方で、派遣先の定年延長による当該事業の縮小もありました。コロナ禍で労働力の余剰が生じているとの情報もありますが、各企業に対し、当センターが実施している派遣及び有料職業紹介事業を周知し新規派遣先の開拓に努め、会員に対しては多様な働き方を提供してまいります。

## (3) 安全就業の推進

就業に伴う事故やけががなく健康で安心して働ける環境が、会員にとっては一番大切です。

安全は、就業の基本です。そのため、傷害事故や損害賠償事故の発生を防止するため、「会員の安全就業基準」の遵守徹底など引き続き組織をあげて取り組むとともに、安全管理委員会が中心となって行う就業現場のパトロールによる安全指導の実施や、安全就業に必要な知識を習得するため各種講習会や研修会を開催します。

また、会員自らが身体機能を把握し健康の維持管理に努め、健康診断の受診や日常的な健康管理、体力づくりに取り組むよう広報活動などを通じて意識の向上を図ってまいります。

## (4) 適正就業の推進

適正就業については、引き続き既存の請負・委任業務の再点検を行い、派遣事業においては、同一労働・同一賃金の理念に基づく就業契約を締結します。

また、ローテーション就業の徹底及び長期就業の解消などのワークシェアリングを推進してまいります。

## (5) 普及啓発活動の推進

地域社会全般に対して、シルバー事業の目的や仕組みをはじめ活動等を広くPRするため、広報紙「よろこび」を年3回発行し会員及び関係先へ配布します。

また、市の広報誌・ホームページ・新聞折り込みチラシ等への記事・広告の掲載、各種イベントでのチラシ配布など、広報活動を通じてシルバーの普及啓発に努めてまいります。

## (6) 中期基本計画の策定

第5次中期基本計画の策定準備に取りかかります。

## (7) ボランティア活動の実施

公益活動の一環として、各地域において清掃作業等ボランティア活動を実施します。また、当センターは山口県警より「交通安全アンバサダー」の認定を受けており、また下関警察署の協力依頼を受けて発足した「うそ電話詐欺防止戸別訪問隊」が、子供、高齢者の見守りなどの社会貢献活動を行っており、今年度もよりいっそう推進してまいります。

## (8) 組織体制の強化

当センターの施策の推進にあたっては、「自主・自立、共働・共助」の理念に基づき、会員はもとより一般市民の意見も取り入れ、専門委員会で議論し理事会に諮り実施しておりますが、組織の活性化もにらみつつ効率的な運営に取り組めます。

コロナ禍の中においても以下に述べる事項を実施するためには、地域社会の要望に基づき、十分な事業量を確保するとともに固定費の削減に努めなければなりません。

また、今年度も引き続き、事務の簡素化、効率化を推し進めるため、システムの改善を実施

します。また、消費税法改正に伴い今後始まるインボイス制度への備え、配分金の郵便振替による手数料負担が始まることによる経費の増加、法改正による同一労働・同一賃金の実施等、これらを念頭に収益の改善を図り、公益社団法人に課せられた収支相償に立脚した適正な公益社団法人会計の原則を遵守しながら組織体制の強化を図ってまいります。

### Ⅲ 法人管理事業

年間主要会議など

定 時 総 会	年 1 回
理 事 会	年 4 回以上
総務運営委員会	年 2 回以上
事業推進委員会	年 2 回以上
安全管理委員会	年 2 回以上
就業調整委員会	年 1 回以上
普及啓発推進委員会	年 2 回以上